



「Chromebook (クロームブック) の効果的な活用について」

～一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業より：No.3～😊

今年度は、弥生小、あさひ小、千代田小、大森浜小、駒場小、湯川小、桔梗小、北昭和小、北中、榎法華中の10校が、「一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業」のモニター校になっています。第三弾として大森浜小学校と湯川小学校の取組をご紹介いたします。

大森浜小学校の取組

1 特別の教科道徳～考え方の可視化

Formsで作成したアンケートやClassroomを利用し、考え方を集約して、グラフ化しました。グラフを使うことで、質問に対する仲間の考え方や考え方の傾向を瞬時に知ることができ、自分の考え方と比較することを通して、授業への理解を深めることができました。



2 総合的な学習の時間～スライドによる共同編集

スライドを利用し、グループで課題追究の結果をまとめました。一人一台端末を用い、画面を共有して、変更内容を確認しながら編集作業を行いました。また、写真やグラフ等を簡単に取り入れることができますため、分かりやすいまとめになるよう工夫しながらまとめていました。



3 全般～仲間のことを知る

Jamboardを利用し、「秋を感じるのはどんな時?」「修学旅行で楽しみなことは?」などの質問に答えています。仲間の新たな一面を知ったり、意外な共通点に気付いたりすることができ、よりよい関係づくりにつながっています。

湯川小学校の取組



1 2年「算数」～考え方を写真撮影して交流に生かす取組

『くふうしてかけ算をつかうと』の学習の中で、おはじきの総数を求める考え方について、おはじきを使って考え方をボードに表し、Chromebookで撮影して保存しました。「他の考え方もまだまだあるよ」という子は、自分の考え方を画像としてどんどん撮りためていきました。その後、グループ内で、それが撮影した写真をもとに、考え方を発表し合い、意見交換しました。



2 6年「国語」～ジャムボードの付箋を交流に生かす取組

『「うれしさ」って何?—哲学対話をしよう』の学習の中で、まず、「うれしさ」について学級全体で考え方を出し合い、次に、個人で「うれしさ」を感じた体験について、Jamboardの付箋に記入しました。付箋の内容はリアルタイムで共有され、付箋の内容をもとに「うれしさ」を感じた体験について交流しました。次の授業では、付箋を分類して見出しを付け、意見交換しました。



今年度の函館市教育振興フォーラムでは、「一人に一台の端末を活用したこれからの教育について」をテーマに、講演会を開催し、駒場小学校・北中学校の事例発表も行いました。

本フォーラムの様子を、YouTubeチャンネルで公開しております。

詳しくはHPをご覧ください😊 <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2021092100056/>

